

シラバス 美術科

教科名	第3学年 美術科	担当者	米田 芽生
-----	----------	-----	-------

【学習到達目標】

- ・名画の良さや美しさ、特有の表現方法などに関心を持ち、意欲的に制作しようとする。
- ・限られたもののみを使用し、試行錯誤しながら根気強く作品を作り上げ、表現の幅を広げる。
- ・日本の美術に関心や親しみを持ち、季節感や日本の美意識に気づき制作しようとする。
- ・一年間を通じ、自分なりの考え方や主張する力を身につけ、自己の考えを深める。
- ・平面だけでなく、様々な素材や道具に触れ、使い方や使い分けを学び、活用できるようにする。

【学習方法やポイント】

- ・座学では、資料集（又は教科書）の学習したページ、特にその中でもラインの引いてあるページを何度も見ておこう。また、プリントにもラインを引き、赤字にした箇所を再度確認し、要点を押さえておこう。
- ・実技で分からないことがあれば授業中にその場で質問するようにしよう。
- ・実技は時間の制約がある中で進めていくので、授業中は集中して進めていくことが出来るよう努力しよう。上手い下手よりも、まずは努力しているかどうかを最も大切なことです。後で“やりきった”と思えるような作品作りを目指そう。

【年間学習計画表】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>★点描画 「点描で野菜を描こう」</p> <p>★名画鑑賞 「バロック・ロココ絵画」</p>	<p>★スケッチブックに枠を描き、モノクロの写真から野菜を転写させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手本を見ながら色使いや筆使いを感じ取り、着色をしていく。 <p>★バロック・ロココ期の画家について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集、配布プリントに掲載されている名画を鑑賞し、名画の奥深さに触れる。 	<p>★転写をすることで絵を描くことの苦手意識を取り除き、自己肯定感を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手本を見ながら混色し色を作っていくことで、色の作り方や塗り方を学ぶ。 ・また時間をかけて制作することにより完成時の達成感を味わう。 <p>★真珠の耳飾の少女をはじめバロック・ロココ期の名画を鑑賞し、作者の意図表現の工夫などを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品と作者のつながりを理解し、より深い学びができるようにする。
2 学期	<p>★「オリジナル手ぬぐい制作」</p>	<p>★日本の伝統色や模様を学び、消しゴムハンコで模様を作り、オリジナルの手ぬぐいを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に作業を進め、素材を生かした独創的な表現を追求する。 ・ニードルや彫刻刀などを安全に使う。 	<p>★制作に必要な資料を準備し、計画を立て創造活動に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の描くイメージを明確にし、素材の特性を生かした表現を工夫することができる。 ・道具を正しく使うことができる。 ・作品全体を考え、変化と統一のある、豊かで独創的な表現ができる。

	★名画鑑賞 「印象派」	★印象派の画家について学ぶ。 ・教科書や資料集、配布プリントに掲載されている名画を鑑賞し、名画の奥深さに触れる。	★印象派の名画を鑑賞し、作者の意図、表現の工夫などを味わう。 ・作品と作者のつながりを理解し、より深い学びができる。
3 学 期	★「ホワイトブック制作」	★自己の内面世界を豊かに想像し、絵画として表現する。 ・計画的に作業を進め、3年間で学んだ技術を使い、独創的な表現を追求する。	★3年生最後の思い出となるアルバムを制作するため、今までの学校生活や授業で学んだことを振り返ることができる。 ・制作に必要な資料を準備し、計画を立て創造活動に取り組むことができる。

【評価について】

美術科では、以下の3つの観点に基づき、生徒の皆さんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

作品作りにおいて習得した知識を活かし、その能力を作品に反映することが出来ているかどうか。また、作品制作において丁寧な作業ができていますか。

(主に、提出課題を見て、授業中の指示を守って技能的に高めることが出来ているか。定期テストを含む。)

○思考・判断・表現

作品作りにおいて、独自性や感性を大切にし、オリジナリティ溢れるものになっているか。

(主に、提出課題や課題プリントを見て、見本例や周りの生徒達の考えに左右されることなく、自身の感性を活かし、作品に反映させているかどうか。)

作品を鑑賞し、作品についての知識理解に加え作品の奥深さを感じ、自分なりの感性・考えが育っているかどうか。他の生徒の作品を鑑賞し、その良さを感じることが出来ているか。

(主に、課題プリントを見て、自分の意見を具体的にまとめることが出来ているか。定期テストを含む。)

○主体的に学習に取り組む態度

美術の知識を進んで吸収し、取り入れようとする。作品についての考えを深め、より良いものになるよう努める。

(主に日ごろの授業への取り組み、提出物の状況、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目。)